住民と議会をつなぐ

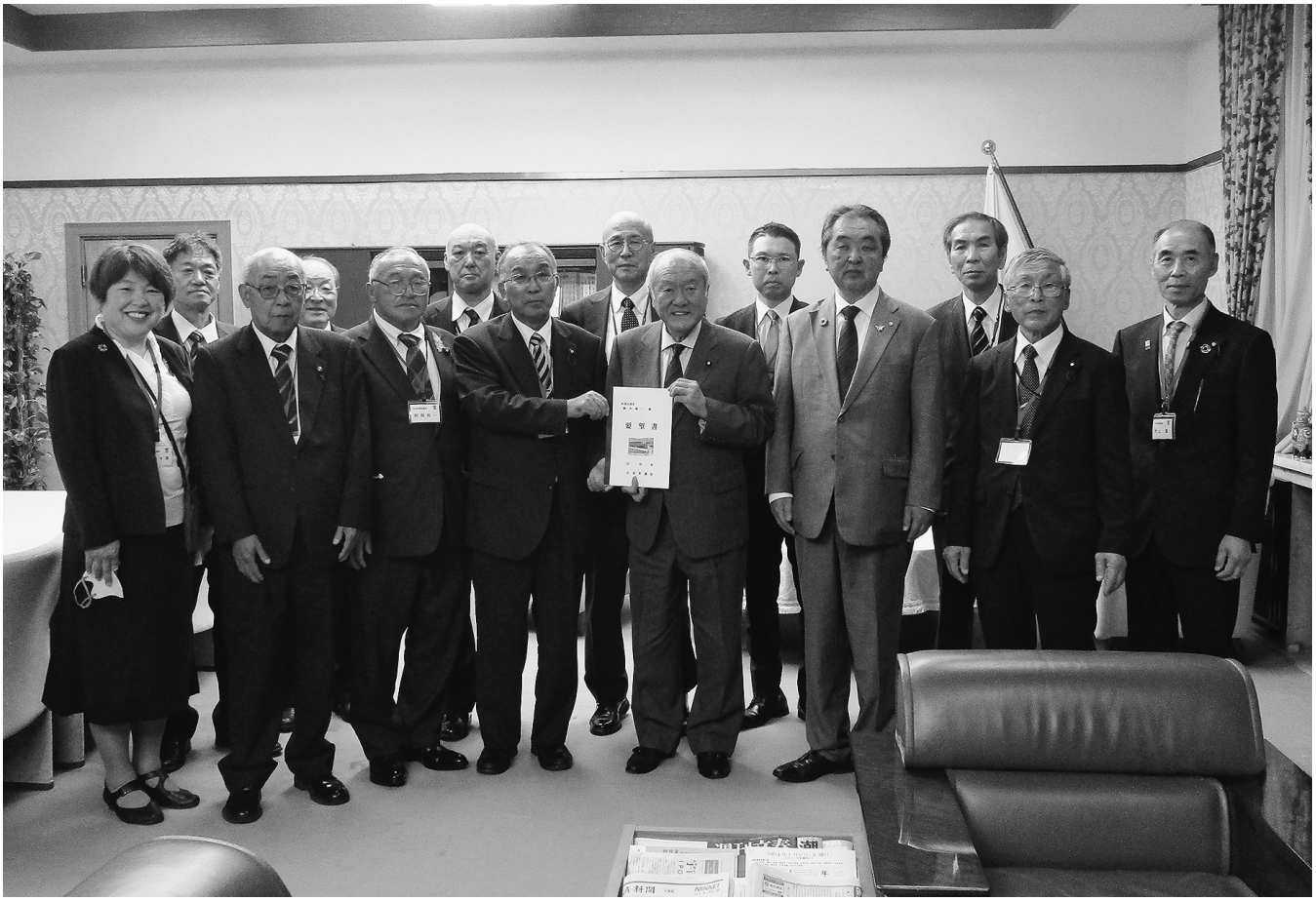
# すみた議会だより

No.186
令和６年
7月12日

特集　県選出国会議員へ
町の要望書を提出　②
登壇！６人の議員が一般質問　⑦
議会レポート　行政視察 in 栃木　⑭
議会傍聴を終えて　⑲

「暑いぞ！夏だぞ!! 楽しむぞ!!!」
《世田米保育園》　関連記事 20P

岩手県住田町議会



△ 町長と全議員で鈴木財務大臣へ直接要望書を手渡した

# 特集 町政調査会活動報告

# 国会要望

## 県選出国会議員に託す

町政調査会では、5月13日衆・参議院会館、財務省を訪問。岩手県選出国会議員に対し、本町が抱える地域課題のうち、重要6項目の要望書を提出しました。

訪問には、神田町長も同行し、議会と町が一体となって地域課題の解決に向け、要望活動を行いました。

鈴木財務大臣には、財務省大臣室で対応いただき、直接生の声を届けることができました。

訪問した国会議員、要望項目は、次の通りです。

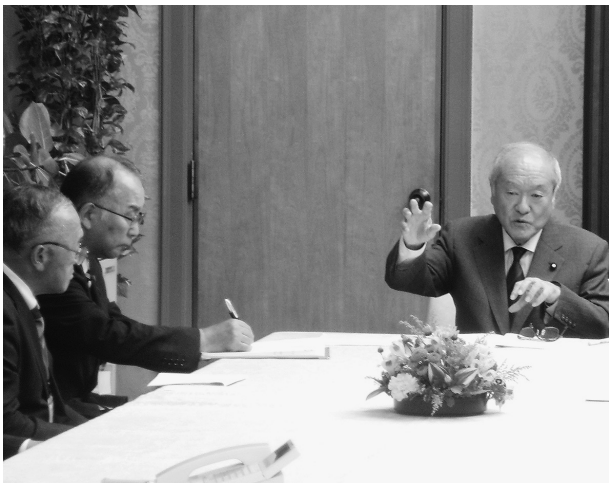
### 訪問した国会議員

- 衆議院議員（財務大臣）
  鈴木（すずき）　俊一（しゅんいち）（自由民主党）
- 衆議院議員
  小沢（おざわ）　一郎（いちろう）（立憲民主党）
  秘書対応
- 衆議院議員
  階（しな）　猛（たけし）（立憲民主党）
  公務で不在
- 衆議院議員
  藤原（ふじわら）　崇（たかし）（自由民主党）
  秘書対応
- 参議院議員
  横沢（よこさわ）　高徳（たかのり）（立憲民主党）
  秘書対応
- 参議院議員
  広瀬（ひろせ）めぐみ（自由民主党）
  秘書対応

# 地域格差是正を

# 要望書提出

## 町の実状を説明



財務大臣室において要望書を提出するとともに、佐々木議長が内容を説明。大臣は、全項目について回答や所見を示しました。林業振興策では、杉から作ることができるバイオ由来の新素材「改質リグニン」（強固で耐熱性に優れる）に関する期待が寄せられました。

### 要　望　項　目

**1．地域医療体制の充実と連携強化**
（1）医師３名体制の確保
（2）訪問診療の充実と往診医の配置による在宅医療等の地域医療提供体制の確保
（3）保健・医療・介護連携体制構築のための連携強化
（4）外来診療の利便性向上
（5）遠隔診療の拡充
（6）入院ベット確保

**2．国道の整備促進**
（1）国道 107 号の改良整備
・白石峠の改良整備の早期着工
・荷沢峠の新トンネル・融雪道路等の早期事業化
（2）国道 397 号の改良整備
（3）国道 340 号の改良整備

**3．地域林業の活性化に向けた木材需要拡大及び環境に配慮した持続可能な林業振興対策の推進**
（1）林業・木材産業の生産基盤の強化
（2）スマート林業の推進
（3）木材利用等における新技術導入の促進

**4．畜産振興の促進**
（1）獣医療提供体制の構築及び体制の強化

**5．鳥獣被害対策の強化・充実**

**6．国際リニアコライダー（ＩＬＣ）の誘致実現**

## 膝を交えて懇談

同日夕刻からは、引き続き鈴木財務大臣を全国町村会館にお招きし、懇談会を開催。同会には、神田町長と松高教育長も列席し、人口減少や獣害対策、物価高騰、産業振興など、各々が課題解決に向けた意見を交換。大臣と膝を交えながら懇談を深めました。

# 第４回定例会（６月議会）あらまし

## 新・滝観洞観光センター受付棟 落成

関連 16 ページ

第４回定例会（６月議会）は、６月４日から７日までの４日間の会期で開かれ、一般質問には６人の議員が登壇。子育て支援、鳥獣害対策、公共交通、ふるさと納税、太陽光発電施設、雇用の確保などについて議論が交わされました。本会議では、条例改正などの専決処分４件、一般会計補正予算などの議案５件を全会一致で可決（人事案件は同意）、請願１件を賛成多数で採択、発委、発議各１件を全会一致で可決しました。

## 条例改正 専決処分を承認

# 住民税『定額減税』を実施

## ひとりにつき1万円

### 税条例の一部改正

今回の条例改正は、いわゆる定額減税４万円（所得税３万円、住民税１万円）の内の住民税分に関する内容を含む条例となる。定額減税は、賃金上昇が物価高に追いついていない国民の負担を緩和するための一時的な措置として、令和６年度課税に対し、個人住民税の特別税額控除として実施されている。

### 定額減税の詳細

令和６年度分の個人住民税所得割額から、納税者及び配偶者を含めた扶養家族１人につき１万円の減税となる。

納税者の合計所得金額が１８０５万円以下の場合に対象となるが、給与収入のみの場合は、給与収入２０００万円以下が対象。

## 令和６年度一般会計 補正予算

# 「教育支援センター」設置

## ～指導員２名を配置～

令和６年度補正予算において、教育支援センター運営に関する予算を４６０万円計上。センターでは、不登校の児童生徒を支援する教育専門職員を２名配置。学習指導や保護者との相談対応を行う。

- **設置場所**
  生涯スポーツセンター（下有住字中上）
- **開所時間**
  平日の午前９時から午後３時

△ 学生から社会人まで幅広い世代に自学自習のフリースペースとして定着しているイコウェルすみた

### イコウェルでＰＲ

**問** **イコウェルのＰＲイベントの目的は。**

**答** ＰＲイベント開催委託料として60万円を計上。今後、プロジェクトマネージャーが企画するイベントを年３回ほど予定している。町の認知度アップ、イコウェルの利用者数アップがねらいである。

### 協力隊こだわらず

**問** **地域おこし協力隊の採用が進んでいないが状況はどうか。**

**答** 現在、役場職員もイコウェルで執務しているので運営に問題はない。しかし今後、プロジェクトマネージャーが町外で営業活動をすることに伴う人材確保は必要である。協力隊の採用にこだわらず考えていきたい。

## 令和５年度一般会計 補正予算

### 森林環境譲与税

**問** **今年度より森林環境税の徴収も始まる。国から交付される森林環境譲与税を、町はどう活用しているか。**

**答** 令和５年度の森林環境譲与税は、約４０００万円。その内、約２２００万円を５年度事業に充当。残額を森林環境譲与税積立金とした。譲与税の積立金は、令和６年度のペレットボイラー更新事業などに活用していきたい。

### 活用協議の場を

**問** **森林環境譲与税の活用の仕方について、広く協議する場を設けてはどうか。**

**答** 譲与税の活用方法は、内部で検討の上執行している。使途状況は、ホームページなどにある。協議の場に関しては、林業振興協議会を通して活用策を協議していきたい。

### 保健・介護一体で

**問** **保健事業と介護予防の一体的実施にどう取り組んでいるか。**

**答** 糖尿病や腎症の重症化予防の取り組みとして、町内全域で、リスクの高い方を個別に３回訪問。必要ならば医療につなげるなど、今後の係わりを確認した。また、高齢者へのフレイル対策として、介護予防を地区全体に働きかける取り組みを２地区で実施した。

△ フレイル対策でもある「健康づくり体操」

## 【監査委員】人事案件に同意

紺野（こんの） 仁（ひとし） 氏
（67才）
上有住字中垰（再任）

請願のゆくえ

# 採択 現行の健康保険証も残すべき

| | |
|---|---|
| 請願第１号 | **現行の健康保険証を残すことを求める請願** |
| 請願者の住所<br>団体・氏名 | 岩手県盛岡市本町通２丁目１番３６号<br>岩手県社会保障推進協議会　会長　佐藤　嘉夫　氏 |
| 紹介議員 | 高橋　靖 |
| 付託常任委員会 | 総務教民常任委員会（委員長　荻原　勝） |
| 委員会審査の結果 | **採択と決定**<br>委員からは、高齢者施設等でカード番号の保管が大変、現状の機器整備や窓口対応は不十分、導入すればかえって手間がかかる、全国レベルでは「ひも付け」トラブルやエラーが発生している、カード利用率も未だに1ケタ台で低い状態にある、健康保険証は重要な本人証明証である、などの意見が多かったことから、採択にすべきものと決定。 |
| 本会議での採決 | **賛成多数　国へ意見書提出** |

## 発議２件……国へ意見書を提出

| 件名 | **発委第１号　当面の間現行の健康保険証を残すことを求める意見書** | **発議第１号　地方自治法改法案に係る「国の補充的な指示」の慎重審議を求める意見書** |
|---|---|---|
| 提出者 | 総務教民常任委員会<br>委員長　荻原　勝 | 水野　正勝 議員　他４名 |
| 提案要旨 | 政府は、現行の健康保険証を2024年12月２日に廃止し、マイナンバーカードに健康保険証を組み込んだいわゆる「マイナ保険証」にすることを閣議決定した。マイナ保険証での受診トラブルなどにより国民の間に不安が広がっているため、政府に対し、当面の間、現行の健康保険証を存続することを求めるもの。 | 重大な大規模災害や感染症蔓延などが発生した場合、自治体に対し必要な指示を行うことができる改正案。指示要件となる具体例も示されていないことから、国と地方との対等な関係が損なわれる恐れを懸念し、地方自治の本旨に反することのないよう審議を求めるもの。 |
| 採決 | 全会一致 | 全会一致 |

## 請願の採決状況一覧

○:賛成　×:反対　欠:欠席
議長は議決に加わりません

| 請願 | 金野千津 | 荻原勝 | 佐々木初雄 | 佐々木信一 | 瀧本正徳 | 村上薫 | 阿部祐一 | 林崎幸正 | 菊池孝 | 高橋靖 | 水野正勝 | 佐々木春一 | 議決結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 請願第１号　現行の健康保険証を残すことを求める請願 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － | 採択 |

6月議会

# 登壇！一般質問

# 町の考えを問う

# 獣害対策、公共交通 教育支援などを議論

| ページ | 質問者（登壇順） | 質問項目 |
|---|---|---|
| 8 | 金野（きんの） 千津（ちづ） | ①パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度<br>②子育て支援<br>③自殺対策 |
| 9 | 瀧本（たきもと） 正徳（まさのり） | ①将来を見据えた施策推進<br>②獣被害対策 |
| 10 | 荻原（おぎわら） 勝（まさる） | ①町民の移動手段確保<br>②熱中症警戒アラートなどへの対応 |
| 11 | 村上（むらかみ） 薫（かおる） | ①児童・生徒の健全育成<br>②鳥獣害対策<br>③企業版ふるさと納税制度の更なる活用策 |
| 12 | 水野（みずの） 正勝（まさかつ） | ①物価高騰対策と地域経済の活性化策<br>②太陽光発電施設の設置普及 |
| 13 | 林﨑（はやしざき） 幸正（さちまさ） | ①雇用の確保 |

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に対し、施策の状況や将来の方針など、所信や疑問点をただすことができる重要な議員活動の場です。1回目の質問事項は、事前に執行機関へ通告されており、全項目を一括して質問。2回目以降の再質問は、1問1答方式で行っています。持ち時間は、答弁を含めて一人あたり60分です。

ここからは、主な質問と答弁を要約した内容を登壇順にお知らせしていきます。

全文記録（議事録）は、役場庁舎２階の総務課と町のホームページ上で閲覧できます。
（ＱＲコードで議会ホームページへ直接進むことができます）

▼ＱＲコード

# 問 教育支援センター目的は

## 答 児童生徒の自立を支援

金野（きんの） 千津（ちづ） 議員

人と人との「つながり」がキーワード。つながりが人を支え、住みよい町を創り、支える。

議員のつぶやき

**問** 教育支援センターの運営方法は。

**答** 教育長

町内に住所を有し、町内、町外の小・中学校に在籍する、学校不適応の傾向にある児童生徒及び保護者が対象。学校教育との連携のもとに相談・助言・指導を行い、学校への復帰や社会的自立支援を目的とする。設置場所は生涯スポーツセンター内。午前9時から午後3時までを開所時間として、専門の職員2名を配置する。

**問** 利用促進、活用への配慮は。

**答** 教育長

利用に際して、以下の5点に配慮して運営に当たる。①児童生徒の特性に配慮 ②保護者の相談対応 ③運動や体験活動の実施 ④家庭訪問の実施 ⑤教育支援センター利用の場合は登校扱いとする。

設置場所は、地理的に町の中心となる下有住を選定した。会議室内の環境は、児童生徒、保護者の意見も聞きながら整えていきたい。教育関係者の力も借りて、まずは子どもたちの居場所づくりを支援していく。

**問** 子ども食堂や子育て支援ヘルパーが必要では。

**答** 町長

子ども食堂のメリットはよく理解しているが、一方で運営課題もある。課題解決を一緒に検討する中で、支援について考えていく。子育て支援 ヘルパーは、各種検診などの機会を捉えながら必要性や課題の把握に努める。「こども家庭センター」や教育委員会などと連携し、取り組んでいきたい。

△ 生涯スポーツセンター内施設を活用し教育支援センターを運営

# 問 パートナー制度を

## 答 導入協議を進める

**問** パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を導入すべきでは。

**答** 教育長

令和6年度は、住田町男女共同参画基本計画策定年度であることから、先進自治体の事例や、町民の皆様のご意見を参考に、宣誓制度導入について協議を進めていく。

※パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度

制度上の婚姻関係にはないが、互いを人生のパートナーである（子供がいる場合は家族である）ことを宣誓し、町が証明する制度。

# どう対応自殺対策

**問** 住田町自殺対策計画が策定されたが、目標達成のための具体的な取り組み内容は。

**答** 町長

孤立や困窮など様々な困りごとに応じて、包括的な相談支援を行う。傾聴支援員養成や研修による人材育成を図る。

# 問 急げ 鳥獣被害対策

## 答 4市町連携で対策強化を

**問** ニホンジカ、イノシシ、サル、クマの獣被害は深刻であり、対策強化は多くの住民のニーズである。人と獣との棲み分け策として植栽など森林や緩衝帯の整備を、町施策として進めるべきである。

**答** 町長

野生鳥獣の生息域は野山が繋がっており特定できない。大船渡・釜石・遠野市と連携しながら対策を進める。

**問** イノシシの豚熱が発生した。その影響は。

**答** 農政商工課長

町内で2件発生した。各養豚場では感染防止のための防護柵を設置済みである。消毒などの対策を進める。

**問** クマが物置に入る事件が起きた。麻酔銃使用などクマ対応策はどのようになるか。

**答** 林政課長

麻酔銃の扱いは獣医が行う。クマが指定鳥獣になり市街地での対応策などが変わる。

**問** 深刻な獣対策のため、ワンストップサービス対応窓口と専門職員の配置が必要では。

**答** 町長

現在は農政課と林政課で課題共有し対応している。町鳥獣害防止総合対策協議会と対策実施隊との連携を図り推進体制を継続する。

たきもと 瀧本　まさのり 正徳 議員

里山の将来展望を持ちながら進めたい。「未来責任」の重さを感じている。

議員のつぶやき

# 問 太陽光発電の不安解消を

## 答 積立制度で廃棄財源確保

**問** 町内に太陽光発電施設設置が進む。今、施設設置に伴う土砂災害や周辺環境、パネルの廃棄や放置の問題が危惧されている。設置に係る基準やルールの整備が必要と思うが。

**答** 町長

太陽光発電施設の設置は、未利用土地が事業用地となりプラス効果もある。廃棄等費用積立制度がスタートした。設置に係る規制などは慎重に判断する。

**問** 「森林林業日本一の町づくりをめざす」町として、森林の持つ多面的な機能を活かすべき。防災観点での森林整備の取り組み状況は。

**答** 町長

地球環境保全や防災機能など、森林の持つ多面的機能を発揮させるため、健全な森林を造成・育成する整備を進める。課題である伐採後の再植林は森林組合などと連携しながら進める。

△ 脱炭素社会に向け導入の進む太陽光発電施設

荻原（おぎわら） 勝（まさる）議員

タクシー券支援やAIデマンド交通を公共交通計画に盛り込むべき。

議員のつぶやき

# 問 公共交通計画策定委託は

## 答 専門知識活用と業務効率

**問** 地域公共交通計画策定のため、計画策定支援を業務委託とある。その目的・ねらいは何か。

**答** 町長

支援業務を委託しようとする目的・ねらいの一つは、委託先の幅広い専門的知識や経験を計画に活かすことである。成功事例や失敗事例と最新情報の提供、新たな戦略の提案を期待している。もう一つは、調査や分析にかかる業務を委託することで、職員業務の効率化や時間の有効活用を図ることである。

**問** 移動困難者におけるタクシー利用への支援拡大を、どう考えているか。

**答** 町長

本年5月に町内のタクシー運行業者に協力を頂き、稼働状況など利用実態を調査した。年間の延べ利用者数は739人、月平均では約60人、およそ8割が町内移動という結果であった。今後は、この調査結果などを踏まえ、公共交通計画策定の中で住民ニーズ調査、タクシー業者への聞き取りなどをして、施策に反映させていきたい。

# 問 どう伝える熱中症特別警戒

## 答 防災無線と住田テレビで

**問** 熱中症警戒アラート及び熱中症特別警戒アラートを、町民にどう伝えていく考えか。

**答** 町長

令和5年の気候変動適応法の改正により、従前からの熱中症警戒アラートに加え、気温が特に高く熱中症で重大な健康被害が生じるおそれのある場合に、新たに熱中症特別警戒アラートが発表される。本町では、熱中症特別警戒アラートが発表された際には、防災行政無線や住田テレビ、SNSなどを通して住民に周知をしていく。

△ 県の「クールシェアスポット」に登録されている「まちや世田米駅」

**問** 熱中症対策の一つであるクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）に取り組んでいるか。

**答** 町長

クーリングシェルターは、熱中症対策の一つとして有効な手段だが一方で、指定施設には基準が設けられ、移動手段や感染症対策などの問題もあるため、町内には設置していない。なお県では「クールシェアスポット／地域で気軽に集まって涼むことのできる場所」を募集しており、本町では「まちや世田米駅」が登録されている。活用を周知していきたい。

# 問 企業版ふるさと納税は

## 答 民間のノウハウを活用

**問** 民間企業による営業支援サービスとの連携や活用で、※企業版ふるさと納税への寄付を集めてはどうか。

**答** 町長

これまでつながりの無かった企業からの認知や共感をいただき、一定の成果があった。さらに魅力ある情報発信をすべく、町のプロジェクトを動画で紹介する取り組みを予定。民間のノウハウを活用し、本町の事業に共感する企業を増やせるよう努力していく。

**問** 民間企業の営業支援サービス活用で、具体的な取り組みは。

**答** 企画財政課長

今年度からJTBの営業担当者が、各企業に自治体のプロジェクトを紹介する寄付勧奨営業サービスを開始した。町もそのサービスを利用している。

**問** 企業版ふるさと納税には、金銭寄付の他に企業の人材を自治体に派遣し、その知見を地方創生に生かす人材派遣型の形もある。取り組みの考えはどうか。

**答** 企画財政課長

企業からの人材派遣で、民間が持っている専門的知識や経験を自治体の取り組みに活かし、サポートしてもらうことは有効と考える。今後検討していきたい。

※企業版ふるさと納税
国が認定した地方創生事業に対し、企業が寄付を行った場合に、最大で寄付額の9割の法人税などが軽減される仕組み。

村上（むらかみ） 薫（かおる） 議員

町の自主財源確保、事業推進に「企業版ふるさと納税」の寄付獲得は大きい。

議員のつぶやき

# 問 思い切った獣害対策必要

## 答 サル個体管理　県に要望

**問** 鳥獣害最大の防御は適正駆除にある。特に被害が拡大しているイノシシ、サル、シカなどへの思い切った対策が必要と考える。具体的施策を示されたい。

**答** 町長

ニホンザルは岩手県のレッドデータブックで「保護を要する種」に指定され、有害捕獲の対象になっていない。県に対し、ニホンザルの個体管理（駆除）を検討するよう働きかける。

**問** 岩手県では、イノシシやシカなどに対する猟犬の使用が認められていない。ハンターの人手不足や高齢化により、獣を追い出す役割の勢子（せこ）の確保も厳しい状況にある。猟犬の使用を県に要望していくべきと考える。

**答** 町長

獣害は大変な状況になっている。一自治体だけでなく気仙、遠野市、釜石市も含めた中で、県に要望をしていきたい。

△ 複合柵：下部が金属、上部が電気柵でサル対応も兼ねている

# 問 6年度物価高騰対策は

## 答 国の動向注視し取組強化

水野（みずの） 正勝（まさかつ）議員

国民負担率は高止まりし、実質賃金はマイナスを現在も更新。物価高騰により、住民生活はひっ迫。

議員のつぶやき

**問 物価高騰の影響や地域経済の景気状況をどのように捉えるか。**

**答 町長**

新型コロナ感染症が、5類に移行し、1年余りが経過。コロナ禍によって停滞していた経済活動が動き出し、世界的にエネルギー需要が高まったことなどが、燃料・資源価格の高騰に拍車をかけている。円安による輸入コストの増加が、物価上昇が進んでいる要因にもつながっていると捉えている。

当町でも、コロナ禍では、外食・買い物などを控え、行動自粛が求められた。経済対策としては、国の交付金事業を活用し「すみチケ関連事業」や「原油価格・物価高騰緊急経済対策」などの様々な事業を商工会と連携しながら講じてきた。

**問 本年度における物価高騰対策や地域経済の活性化策をどのように考えているか。**

**答 町長**

これまでと同様に、商工会、商工業者と情報交換、情報共有を図り、国の経済支援対策に注視しながら取り組みを強化していきたい。

# 問 太陽光設置に基準を

## 答 景観計画は慎重検討

**問 太陽光発電施設の設置状況と近年急速に普及された要因をどのように捉えているか。**

**答 町長**

平成29年3月からの約7年間で、設置件数は79件から149件と約2倍となる。発電容量は4774Kwから5447Kwと約15％増加した。

固定価格買取制度により一定価格での買取が保証され、建設コストの回収見通しが立ちやすく、他の再生可能エネルギーに比べ、設置が容易となる。農業従事者の高齢化により、遊休農地が増加し、農地所有者が町外者となっていることも要因。

**問 太陽光発電施設の整備にあたっては、自然環境や周辺との調和、地域や住民との不要なトラブルを避け、円滑な事業が展開されることが望ましい。一定のルールを設けるなどの必要があると考えるが。**

**答 町長**

周辺の景観との調和を図るため、太陽光発電施設の整備を規制するには、景観計画を策定し、景観計画区域などを定める必要がある。景観を保護するエリアに指定された場合、当該エリア内に土地などを所有する方は、本来自由に行うことができる経済活動が制約される場合もある。計画を策定するか否かは慎重な検討が必要と考える。

△ 大雨、洪水による冠水なども心配されている遊休農地における太陽光発電施設の設置推進

# 問 雇用の確保対策を

## 答 若者の地元定着を支援

林﨑（はやしざき） 幸正（さちまさ） 議員

経済情勢を踏まえながら施策を実施すべし。

議員のつぶやき

**問** 人口減少対策の決めては雇用の確保と考える。町の経済や雇用状況をどう捉えているか。

**答** 町長

公共職業安定所の雇用失業情勢を見ると、大船渡管内は1倍台を下回っている。現在は東日本大震災の復興需要も終えた状況になっている。令和4年4月に建設業者の倒産、直近でも建設事業者が自己都合による整理を行っている。

**問** 町外へ働き手が流れると、地域コミュニティなどに支障が出ると思うがどうか。

**答** 町長

町内で働く場の確保は、町政を運営する上で非常に大事と捉えている。若者の働く場の確保や職場定着を促進する助成制度として、「新規学卒者雇用促進奨励金」「若者職場定着奨励金制度」を整備。若者を雇用する事業所を支援することにより、町内事業所における人材確保と若者の地元定着に努めている。

**問** 今後の雇用対策は。

**答** 町長

岩手県企業誘致委員会や商工会、ハローワーク、気仙地区雇用開発協会などの関係機関と連携を図る。働く場の確保と町内事業所への人材確保や若者の地元定着に取り組んでいく。

# 問 建設業者減少にどう対処

## 答 開発計画で工事量確保

**問** 建設業者の倒産や廃業により、災害時や除雪などへの影響が出ていると思われるが対策はどうか。

**答** 町長

本町の建設業者には、それぞれの事情により、継続が困難になった業者が複数ある。さらに業者数が減少すると様々な業務に支障が出ると懸念され、影響は大きいと認識している。

その影響を生じさせないようにするため、今年度策定する総合計画において、安定的に5年間の工事量を確保しつつ、各事業を計画的かつ適切な時期に発注する。

令和6年4月、新たに発足した「住田町建設業協会」などと情報交換し、建設業界の現状把握に努め連携を図る。

△ 災害復旧の際には、町内建設業者の役割が大きい

**問** 今年度の6月までの公共事業の発注状況はどうか。

**答** 建設課長

現在、発注案件が2件ある。今後においても早期発注に努める。

# 視察の成果を町政に

行政需要が増大し、施策が高度化する中、監視機能の強化や有意義な政策提言が求められます。視察研修は、他自治体などの事例を研究し、町政課題解決のヒントを得るため実施しています。ここでは、栃木県内での行政視察や「新・滝観洞観光センター受付棟」の現地視察、町村議会議員研修などをご報告します。今後も、研修成果を町政の発展に活かせるよう努めてまいります。

**議会レポート 活動報告**
**4～6月**



**行政視察 in 栃木**

## 約160の窯元 ❶陶芸の里 ましこまち 益子町

人口 20,715 人（R6.6.1 現在）

# 住民に開かれた議会づくり

## 柵と緩衝帯でイノシシ減

**期日** 令和6年5月14日

**研修内容**

**議会活性化の取り組み**

・益子町議会の議会改革
①議会基本条例の制定
②広報広聴常任委員会の設置
③議会活性化検討委員会の設置
④議会サポーター制度の導入

・子ども議会の開催

・議会報告会と各種団体との意見交換会の実施

**獣被害対策（イノシシ）**

・イノシシ捕獲数
（令和元年４３８頭。令和５年２００頭。）

・平成27年、国の支援事業によるモデル集落を活用した住民主体の対策実施（一部集落への侵入防止柵を約８km設置。里山林整備による山林内の下草刈りで緩衝帯形成。）

同集落では、以後イノシシによる被害はなし。現在も緩衝帯整備を継続し、鳥獣管理士による学習会を開催。集落全体の意識向上を図っている。ハンター確保が課題。

△ ワイヤーメッシュ柵が設置されている益子町西明寺地区
写真提供元　鳥獣被害対策ドットコム

**―質疑応答―ピックアップ**

**問** 子ども議会のねらいや具体的な内容はどうか。

**答** 未来を担う小学生が、意見や提案をする機会づくりを通じて、主体的な考えや住民自治への関心を高めることを目的として実施。対象は6年生。児童代表8名が一般質問を行い、教育長、部長が答弁。再質問は1回。質問はクラス全員で考え、身近で具体的な内容が中心となる。

# 行政視察 in 栃木

## 皇室の台所 ❷御料牧場　たかねざわまち 高根沢町

人口 28,799 人（R6.6.1 現在）

# 議会報告会（カフェ・ド・ギカイ）

## 安心の居場所「ひよこの家」

期日　令和6年5月15日

研修内容

**フリースペース「ひよこの家」**

・教育支援センターとして設置され、開級22年目。様々な事情のある児童生徒のための居場所づくり。理念はどこで学ぶかではない。何を学ぶかが大切。（表面的な学校復帰は目指さない。心の充電。）

・町外の児童生徒も受け入れている。学校と同様に給食を提供。（所属感や安心感を創出。）行事や体験学習が充実している。

△ 田園風景に囲まれた古民家を活用し、児童生徒の心休まる居場所となっている「ひよこの家」

**議会広報の取り組み**

・紙面構成や原稿作成、写真撮影などの編集主体は広報委員会となる。タブレットの活用により、資料データの事前共有で会議時間を短縮。

**議会報告会（カフェ・ド・ギカイ）**

・平成31年より開催。町民への参加募集方式から地域へ出向く出前方式へ。原則として年4回の実施。

・地域課題についてワークショップ（参加体験型講座）形式で対話。事前にテーマを設定してのぞむ。

・カフェでお茶するような雰囲気づくりを目指す。中学生や消防団など各種団体へも打診。

意見をまとめ提言書を町へ提出。

**その他研修**

・議会のタブレット導入

・循環バス「たんたん号」

---

### 全国町村議会 議長・副議長研修会

期日：令和６年５月21日
場所：東京国際フォーラム

### 議会の現状と課題 あるべき姿を学ぶ

**研修項目**

1、議員のなり手不足は「住民自治の危機」：その打開の道を探る

2、ハラスメント　－自治体議員が注意すべきポイント－

3、将来の地方議会を担うのは誰か？
－若者、女性、勤労者が参画する地方議会の実現－

**ピックアップ**

**議員のなり手不足の対策**

**①議会が取り組むべきこと**
・なり手問題の検証組織立ち上げ
・広報活動と住民交流機会の充実
・議会モニターを通じた「応援団」の形成

**②町全体が取り組むべきこと**
・議会事務局体制の整備・強化
・議員報酬の改善検討
・主権者教育と議会との連携

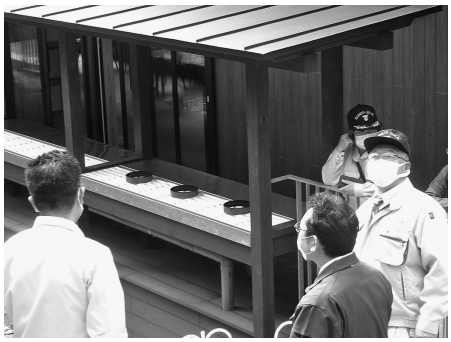
**③国・県が取り組むべきこと**
・対策に係る議会や自治体への財政支援など

町内視察
4月16日

# 1 新・滝観洞観光センター「おらいの滝観洞」完成

新・滝観洞観光センター受付棟の完成を受け、4月27日のオープンを前に、施設を視察しました。木のぬくもりに囲まれた安らぎのある建物です。

各議員からは、周辺の環境整備や景観づくりなど、今後のさらなる展開に期待の声が寄せられました。

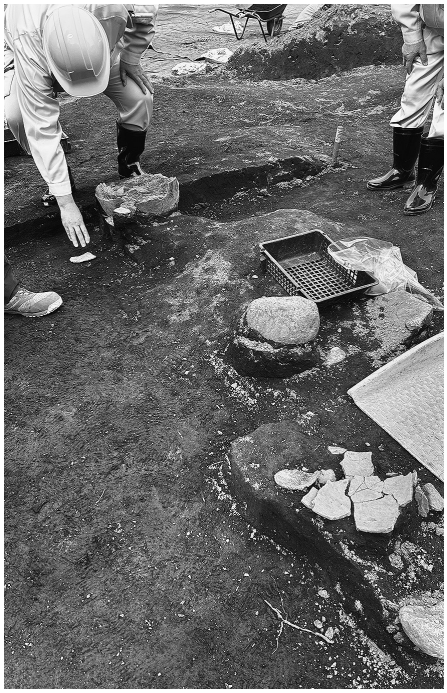


町内視察
4月16日

# 2 埋蔵文化財発掘調査 中埣Ⅲ遺跡（五葉地区）

令和5年11月の試掘調査を経て、本年4月より、本格的な発掘調査が開始されたとの情報を受け、現場を視察しました。。

遺跡では、縄文時代の様々な出土品が数多く発掘されており、かつての風景に思いを馳せ、興味深く見学しました。



# 町議会の活性化と議員の資質向上を図る

## 県南地区町議会議長会研修会・交流会

令和6年6月21日
会場地　西和賀町

このほど、金ケ崎町議会、西和賀町議会、平泉町議会、当議会で構成されている県南地区町議会議長会による研修会と交流会が開催されました。県南地区の町議会議員総勢52名が一堂に集い、町議会の活性化と議員の資質向上を図ることを目的として、研修を受講。交流会では、県南地区のさらなる発展を目指し、親交を深めました。

## 岩手県南のさらなる振興発展を

### 研修①　地域資源を有効活用わらび特産化

講師　やまに農産㈱

【やまに農産とは】

転作田を活用した「わらび」の生産や粉末加工、収穫体験ができる観光わらび園などを運営。わらび粉を利用したお菓子は町の主力商品に。

△やまに農産の「つきざわわらび園」。最盛期には多くの観光客でにぎわう

### 研修②　豪雪をまちの力にかえるユキノチカラ

講師　ユキノチカラプロジェクト協議会

【ユキノチカラプロジェクトとは】

豪雪地帯の指定を受ける西和賀町の魅力を見出し、地域のブランド化を通じて発信を展開する取り組み。雪を象徴した統一のロゴマークをつけた菓子や酒などの商品開発を中心に手がけている。

▷全国へ町のPRを展開しているユキノチカラプロジェクト

## 町村議会議員研修会

期日：令和6年5月31日
場所：岩手県自治会館
参加：阿部祐一議員
佐々木初雄議員
荻原勝議員
金野千津議員

## 沿岸部の地域振興 革新的な人材が鍵

**研修項目**

1、先端技術産業の外発的発展と内発的発展
2、これからの議員のあり方
3、超高齢・人口減少社会における自治体経営

**ピックアップ**

### 先端技術産業の発展

- 県内陸部以外では、産業と雇用を外から「持ってくる」のは簡単ではない。
- 革新を生み出せる「人」によって興される発展を沿岸部地域は、目指すべき。（企業による新事業開発や新製品開発。さらには、新規事業を支援することで、産業振興を図りたい。）

# 追跡レポート㉜ 一般質問その後 どうなりました あの提言

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているか。
これまでの質問から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡してみました。

## 小さな拠点で若手職員が研修

### 質　問

**職員研修として地区担当制の検討を**

職員が地域と地域の人を知ることは、行政マンとしてその能力を発揮する上で重要なことである。
職員研修の一環として地区担当制などを検討すべきではないか。

### 答　弁

**行政組織改革の一つとして検討する**

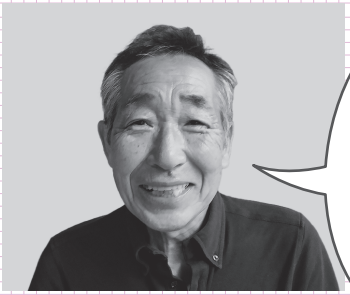
住民と職員が一緒になって将来の地域を考えていく前提の中で、行政組織改革の一つとして、どのような体制が必要か検討していく。

**その後**

**令和６年度 地域を学ぶ機会に 若手職員が研修**

△「小さな拠点づくり」で研修を積むことにより、今後の業務への反映が期待される

### 地域の声



千葉（ちば） 忠行（ただゆき） さん
（夢がかがやく上有住会長）

**お互いに「ありがとう」**

職員が地域に入ることは最初の第一歩で大賛成。
地域に溶け込み、お互いに「ありがとう」と言われるような関係になってほしい。

# 議会傍聴を終えて②

6月定例議会の初日、中沢下老人クラブ「悠々クラブ」16名の皆さんの傍聴がありました。インタビュー形式で感想・意見を伺いました。

少子化・高齢化、人口減少が進み、またDX対応と、大きな社会変革の中にあります。いつまでもこの町で、心豊かに暮らし続けられる町づくり推進に、皆様の声を生かします。

▽質問項目

**問1** 傍聴しての感想

**問2** 議会や町に望むこと

**問3** その他、気になっていること

## 村上 幸平（むらかみ こうへい） さん

世田米字上日向

### 議員なり手推進を

**答1** 初の女性議員の質疑応答を傍聴させていただきました。質疑応答は活発なやりとりでした。

**答2** 普段から課題に思っている、サルやイノシシなどの獣被害の質問で、傍聴して良かったと思いました。

**答3** 議員選挙が無投票になっていることに不安を感じています。議員のなり手不足対策を進めてほしい。

## 吉田ユリ子（よしだ） さん

世田米字梅の木

### 地域の将来不安解消を

**答1** 本当に困っているサルなどの獣被害の現状を、私たちの代弁をしていただいたように感じました。

**答2** 買物する店が少なくなったこと、免許証返納後に、通院などの移動手段に将来の不安を感じています。

**答3** 年齢を重ねつつここで暮らします。町道周辺が草や枝などで藪状態となり、見通しも悪く危険に思います。

## 議会を傍聴しよう！

町議会は誰でも傍聴できます。次の9月議会の予定は下表のとおり。

生活改善センター議会棟の入口から案内に従って傍聴席へお入りください。

### 9月議会は

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 一般質問 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 決算審査特別委員会 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 議案審議 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | | | | | |

### 住田テレビ放映もどうぞ

本会議や一般質問の模様は、住田テレビの「議会放送」でもご覧いただけます。

放映時間は午後6時からです。

## 松田 剛利（まつだ まさとし） さん

世田米字西風

### 獣被害対策強化を

**答1** 議会がどのように進められているか、気になっていることなど興味深く傍聴しました。

**答2** サルなどの被害の心配をしながらのカボチャ作付け。楽しみを奪う獣への対策を強く進めて欲しい。

**答3** いろいろ課題があると思いますが、早め早めの対処で。楽しく交流できることを大切にしたい。

## 村上サチ子（むらかみ） さん

世田米字日向

### 交流を盛んに

**答1** 初めての傍聴で、議場での質疑応答を始めて見ました。いい体験で、若い方々に傍聴させたい。

**答2** 獣対策など課題には、議員と役場職員が連携しながら、町のために力を出してほしいと思います。

**答3** 人口減少・高齢化が進み、益々人と人との繋がりが大切です。地域の交流の機会を大切にしたい。

すみた議会だより No.186
令和6年7月12日発行

パート18

# わたしの未来

住田町の子どもたちが**将来の夢を語る**コーナーです。
自薦・他薦も大歓迎。申し込みをお待ちしています。

## 子どもが大好き

私の夢は**保育士**です。理由は2つあります。1つ目は、子どもが大好きで子どもとの関係を増やしたいからです。2つ目は、最近子どもの事故が多くなっています。そのような事故を少なくできるようにしたいからです。

有住小学校6年
菊田（きくた）　莉亜（りあ）
（上有住字坂本）

## すみたを応援！

私の将来の夢は、**大人になって遠くの町で暮らす**ことです。住田町も大好きだけど、他の町に住んで自分の世界を広げたいからです。地域創造学で、住田町が人にやさしい町だと学習しました。私は、他の町で住田の良さを伝えたいと思います。

世田米小学校6年
千葉（ちば）　心遥（こはる）
（世田米字向川口）

## 編集後記

委員　瀧本正德

▼多くの町民に共通する話題の一つが、イノシシなどの獣被害の話です。早々の対策が必要です。▼近年、激甚化する大雨被害が、全国各地で起きています。自分の安全を守る「自助」と、となり近所で力を合わせる「共助」が、災害に強い地域づくりの第一歩と思います。▼限られた紙面で、議会活動を知っていただくことの視点で、読みやすく親しみやすい「議会だより」を編集しています。皆様のご意見ご感想をお寄せ下さい。

## 表紙の写真

世田米保育園

暑い日が続く中、世田米保育園の子どもたちは、青空の下で元気いっぱい水遊びを楽しんでいました。石鹸を削り色水と混ぜると、泡たっぷりのお水の完成です。「お父さんのビールみたい！」と大爆笑の子や、「お母さんがお客さんが来るとやるんだよ」とカップにお水を注いでおもてなしをしてくれる子もいました。後ろからそーっと来て、しっかり水遊びに混ぜてくれた子も（笑）暑さも忘れて「涼」を感じることができた一日でした。

## 広報編集常任委員会

発行責任者　議長　佐々木　春一

委員長　水野　正勝
副委員長　荻原　祐一
委員　阿部　薫
　　村上　正德
　　瀧本　千津
　　金野

発行／住田町議会
編集／広報編集常任委員会

〒029-2396　岩手県気仙郡住田町世田米字川向88-1
TEL 0192(46)3754(直通)　内線511　FAX 0192(46)2018
https://www.town.sumita.iwate.jp